

取扱説明書

DAYTONA

S 31061①/⑧

*取り付けする前に必ずお読み頂き、内容をよく理解して正しくお使いください。

*この取扱説明書は、いつでも取り出して読めるよう大切に保管してください。

*この商品もしくはこの商品を取り付けた車両を第三者に譲渡する場合は、必ずこの取扱説明書も併せてお渡しください。


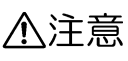
| | | |
|-----------|----------|-------|
| ハイビードプーリー | 適応車種 | 商品NO. |
| | HONDA 車用 | 31061 |





■ご使用前に必ずご確認ください■

※ 取扱説明書内の注意事項を守らずに使用した事による事故や損害について、当社では一切の責任は負いません。




※ 商品の保証については保証書裏面の保証規定に沿って行なっております。保証内容をご理解のうえ、この取扱説明書と一緒に保管してください。

本書では正しい取り付け、取扱方法および点検整備に関する重要な事項を、次のシンボルマークで示しています。

| | |
|--|--|
|  警告 | 要件を満たさずに使用しますと、死亡または重傷に至る可能性が想定される場合を示してあります。 |
|  注意 | 要件を満たさずに使用しますと、傷害に至る可能性または物的損害の発生が想定される場合を示してあります。 |

| | | | |
|--|--------------------------|--|---------------------|
|  実施 | 行為を強制したり指示する内容を告げるものです。 |  禁止 | 禁止の行為であることを告げるものです。 |
|  法令違反 | 条件次第では法令違反となることを告げるものです。 |  その他 | その他の警告及び注意を告げるものです。 |
|  高温注意 | 表記の注意を告げるものです。 |  分解禁止 | 表記の禁止行為を告げるものです。 |

注意

| | |
|--|--|
|  実施 | <ul style="list-style-type: none"> 取り付けに入る前に必ず安全を確保した上で作業を行なってください。 取り付けは確実に行ってください。また走行中にネジ部等が緩むことのないよう規定トルクで確実に締め付けてください。 |
|  法令違反 | <ul style="list-style-type: none"> この商品は、道路運送車両法および道路運送車両法の保安基準に適合しておりますが、一般公道において 30km/h を超える速度で走行した場合、道路交通法（速度超過違反）によって罰せられます。一般公道では遵法運転を心がけてください。 |
|  その他 | <ul style="list-style-type: none"> 車両個々のバラつきによって、当社の推奨するセッティングとは異なる場合があります。予めご了承ください。 この商品の性能を最大限に発揮させるため、デイトナ製【プログレスレーシング CDI、またはパワーアドバンス CDI】の同時装着をおすすめします。 (純正 CDI のままですと車両によってはリミッターが効いてしまうため、 |

60 km/h以上出ない車両があります。)

- この商品は、純正のプーリーボスを基に設計してありますので長さの違うプーリーボスを使用しますと、低中速の加速が落ちることや最高速がおちたりすることがありますので、プーリーボスは純正をご使用ください。
- 磨耗したベルトを使用すると本来の性能を発揮できません。ベルトの幅が約1mm磨耗すると、最高速度にして約5 km/h前後ダウンします。(定期的にベルトの磨耗状況をチェックされることをおすすめします。)
- 組み付けの際、プーリー本体の表面には油分を絶対につけないでください。ベルトスリップの原因となります。油分がついてしまった場合は、ベルトを取り付ける前に必ず、ガسケットリムーバー等で油分を完全に除去してください。
- 取り付け後、約100 km走行しましたら各部を点検して、ネジ部等の増し締めを行なってください。その後、約500 km毎に必ず点検を行ない、同様の増し締めを行なってください。
- 走行中に異常が発生したと思われる場合は、直ちにバイクを安全な場所に停止し、異常部分を検査してください。
- この商品は、予告無しに仕様を変更する場合があります。また文中に照会してあります商品についても、予告無しに変更する場合があります。予めご了承ください。

本商品の特徴

- この商品を装着することにより、中間加速の向上と最高速度がアップします。
- 高精度が要求されるプーリー本体表面は、ダイヤモンドチップでMC加工しているため、安定した性能を確保できます。
- この商品はベルト切れしない範囲でいっぱいまでワイドレシオ化しましたので安心してご使用いただけます。

商品内容

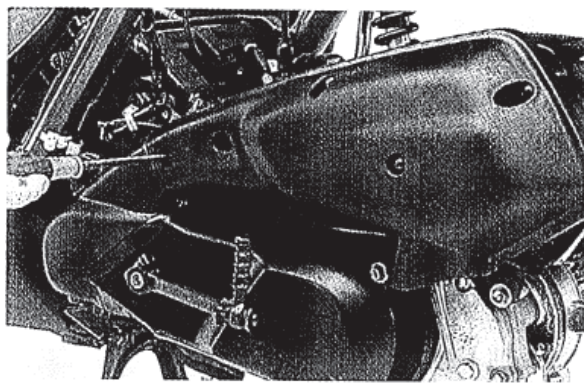
| NO | パーツ名 | 数量 |
|----|--------|----|
| ① | プーリー本体 | 1 |

取付方法

本文中の作業内容については、ライブD I O-Z Xにて行なっていますが他の車両についてもほぼ同様です。

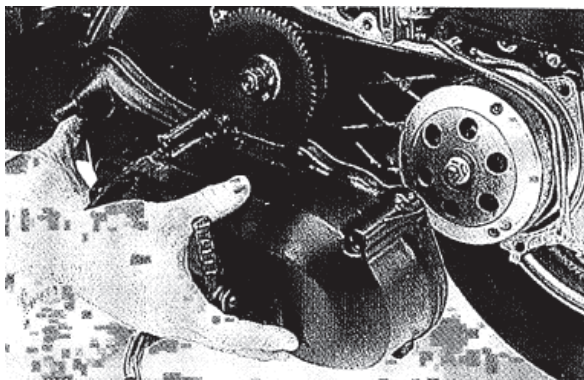
1.<エアクリーナーカバーの取り外し>

- 1-1 エアクリーナーカバーを締めつけているネジ 6 本を外し、エアクリーナーカバーを取り外します。
- 1-2 エアクリーナーダクトの取り付けボルト (M6/3 本) を緩めてエアクリーナーダクトを取り外します。



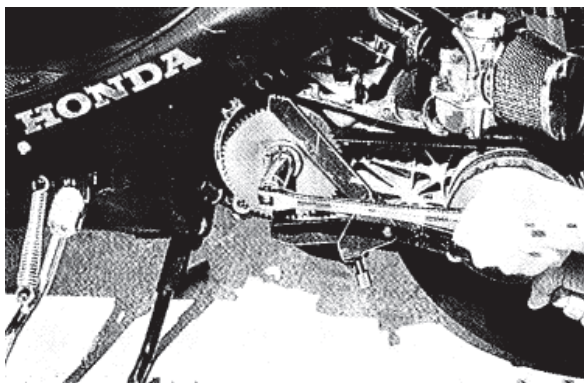
2.<クランクケースカバーの取り外し>

- 2-1 クランクケースカバーを固定している六角ボルト (M6/6 本) を外し、クランクケースカバーを取り外します。
- 2-2 スターターギヤを取り外します。



3.<ドライブフェイスの取り外し>

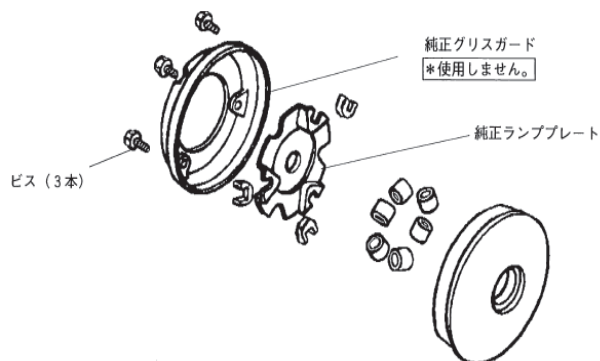
- 3-1 プーリー脱着ホルダーでドライブフェイスを固定している六角ナット (M10/1 本) を外し、純正ドライブフェイスを取り外します。



4.<純正プーリーの取り外し>

- 4-1 Vベルトを外し、純正プーリーの裏側に両手で指を入れクランクシャフトより純正のプーリー、ランププレート、ウエイトローラーを一体のまま手前に引き出します。
- 4-2 純正プーリー裏側のビス 3 本を取り外し、グリスガードを取り外します。(車両によって純正グリスガードはありません。)
- 4-3 純正ランププレートを取り外します。

※純正のグリスガードは使用しません。



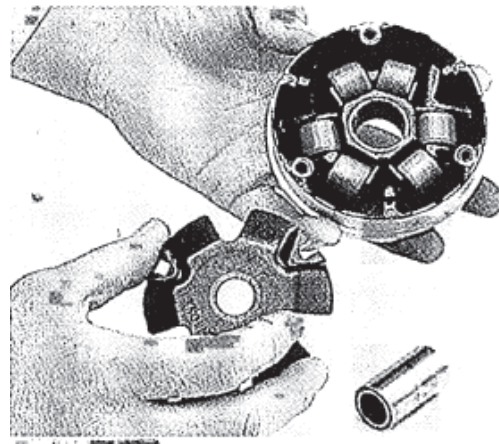
5.<ハイスピードプーリーの仮組み>

5-1 ①プーリー本体の溝部にウエイトローラー（別売）を組み付けます。

5-2 手順 5-1 で仮組みしたプーリーに純正ランププレートを被せます。

※ウエイトローラーは無給油タイプですが、ごく少量のプーリーウエイトグリスを塗布すると耐久性が向上します。

【品番 70243 デイトナ製 プーリーウエイトグリス】



6.<ハイスピードプーリーの取り付け>

6-1 手順 5 で仮組みした①プーリー本体の表面側からプーリーボスを入れ、純正プーリーが組みつけてあったクランクシャフトに、奥まで差し込みます。

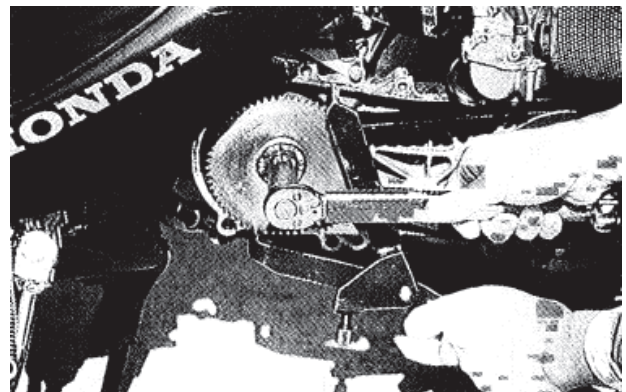
※ウエイトローラーが飛び出さないよう、ランププレートの裏側を手で押さえながら差し込みます。

6-2 ベルトをプーリーボスに引っ掛けます。

※ベルトを引っ掛ける際、ドライブフェイス（プーリーと反対側のフェイス部分）を両手で広げベルトを奥に差し込んでから組み付けてください。

ベルトが引っ張られた状態でドライブフェイスを組みつけますとナットの締め付けが不完全となりナットが外れてしまいます。エンジン破損の可能性がありますので十分注意してください。

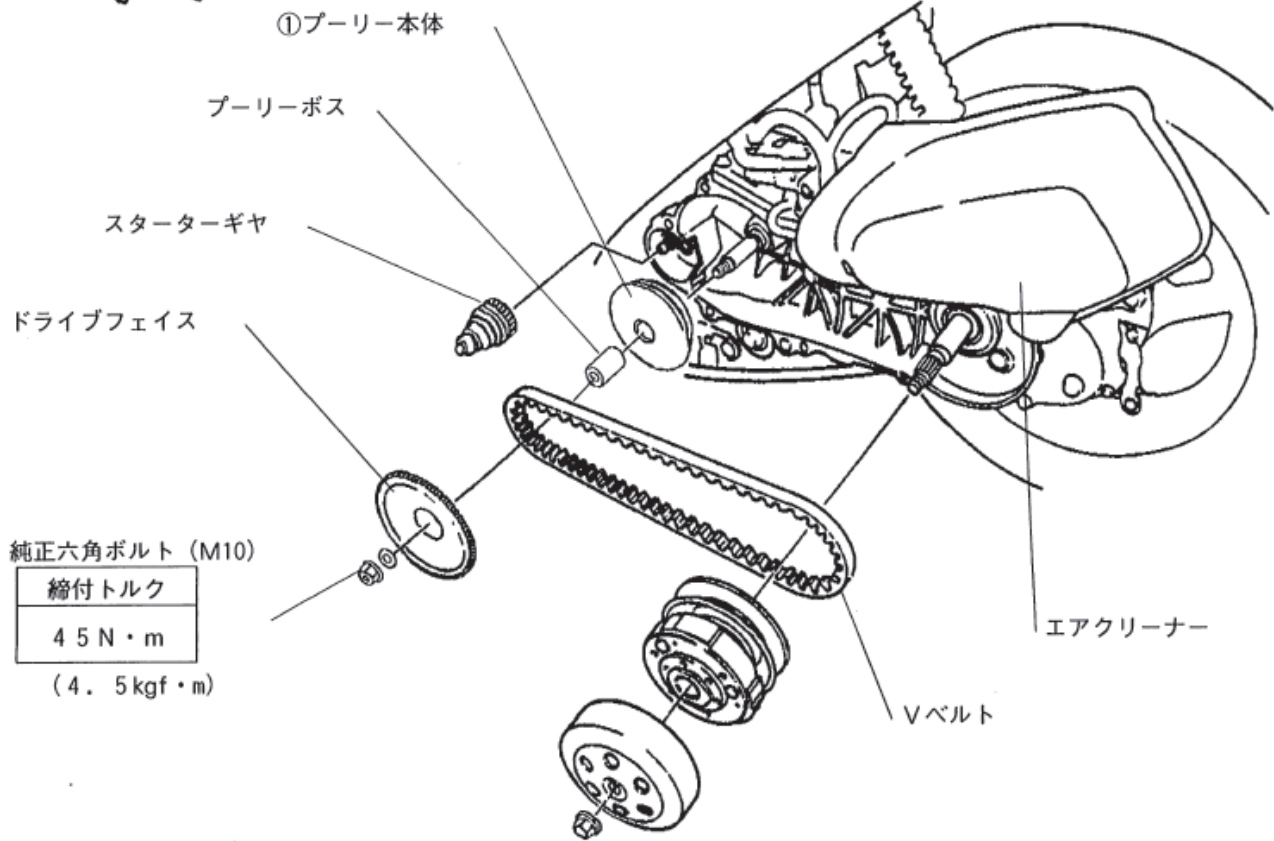
6-3 飛び出たプーリーボス部分にベルトを引っ掛け純正のドライブフェイス、ワッシャー、ナットの順に組み付けトルクレンチを使用し、ナットを $45\text{N}\cdot\text{m}$ で締めつけます。



7.クランクケースカバー、エアクリーナーダクトを取り外しの逆の手順で組み付け、各部に異常がないか確認し作業は終了です。

■ 取り付け詳細図 ■

進行方向



※走行中に異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停止させ、異常箇所の点検を行なってください。

別売DWRウェイトローラー HONDA 外径Φ16

| 商品名 | 品番/価格 (税抜) | 商品名 | 品番/価格 (税抜) |
|----------|------------|---------|------------|
| 13.0g×3個 | 90432 廃番 | 6.5g×3個 | 90419 ¥700 |
| 10.5g×3個 | 90427 ¥700 | 6.0g×3個 | 90418 ¥700 |
| 10.0g×3個 | 90426 ¥700 | 5.5g×3個 | 90417 ¥700 |
| 9.5g×3個 | 90425 ¥700 | 5.0g×3個 | 90416 ¥700 |
| 9.0g×3個 | 90424 ¥700 | 4.5g×3個 | 90415 ¥700 |
| 8.5g×3個 | 90423 ¥700 | 4.0g×3個 | 90414 ¥700 |
| 8.0g×3個 | 90422 ¥700 | 3.5g×3個 | 90413 ¥700 |
| 7.5g×3個 | 90421 ¥700 | 3.0g×3個 | 90412 ¥700 |
| 7.0g×3個 | 90420 ¥700 | | |

※価格：2019/3/7 現在

※ウェイトローラーの基本セッティング

- ・ノーマル 50cc シリンダーとノーマルマフラーが基本です。
- ・パッケージ台紙の裏面に記載されている重量を参考にしてください。

※注意

- ・グリスガードがついているノーマルプーリーはグリスガードを使用しません。
- ・この商品は、ウェイトローラーが付属しておりません。付属の取扱説明書等を参考に車両のチューニング状態に合わせてご購入ください。Vベルトはデイトナ製強化ベルトをご使用してください。

※商品の交換に必要な特殊工具類

下記の工具類についてはあくまでも一般的に使用するものであり、必ずしも必要ではありません。また作業内容により、他にも必要な工具類はありますのでご了承ください。

| 工具名称 | 品番/価格 (税抜) |
|------------|--------------|
| プーリー脱着ホルダー | 31832 ¥3,900 |
| トルクレンチ | |

※価格：2019/3/7 現在

実証JASDAQ上場

株式会社 **デイトナ** 〒437-0226 静岡県周智郡森町一宮 4805

URL: <http://www.daytona.co.jp>

◎デイトナ商品についてのご質問、ご意見は「フリーダイヤルお客様相談窓口」0120-60-4955 まで

～ウエイトローラーのセッティング方法～

はじめに

チューンナップをしていく上で大切なことは、トータルバランスを考えてパーツの交換を行なうことです。オートバイを構成しているパーツには、すべて走るための重要な機能が備わっています。無用なパーツ交換は、バランスを崩してしまうだけで性能の向上にはなりません。各パーツの機能、他のパーツとの関連を理解して、自分が目指すチューンナップに取り組んでみてください。

パーツの交換は、危険を伴う作業です。確かな知識と技術を持った専門家に立ち会ってもらうことが必要です。またチューンナップした後も、公道を走行する場合は道路交通法に基づく遵法運転を心がけてください。

セッティングの目的

オートバイ（スクーター）におけるセッティングは「どうやってそのエンジンの最高出力回転域を使い切るか」というのが最大の目的になります。たとえ20馬力エンジンパワーが出ていたとしても、パワーの出ている回転数の所で走っていたのでは意味がありません。

そこで、セッティングを行ない最高出力回転数を使って走れるように変速回転数を合わせてやります。

駆動系の仕組み（簡略版）

実際走ったときの感覚で簡潔にご説明いたします。スクーターに乗って、ゼロ発進～最高速到達までをイメージしてみます。

- ①発進 …… アクセルを開けると回転が上がり、バイクが動きはじめます。
(クラッチミート)
- ②加速 …… その後エンジン回転が上昇し、ほぼ一定の回転数を維持したまま加速していきます。(変速中)
- ③伸び …… 50～60km/hあたりを境にして、エンジン回転数が再び上がりはじめ、最高速に到達（もう回転数が上がらない所）という三つの段階に分かれます。

※ウエイトローラーのセッティングとは、組み込まれた重量によって②の段階での回転数を変化させ、エンジンの最も力のある回転で走れるようにすること。ウエイトが重いと回転数は低くなり、軽いと回転数は高くなります。

※当然、低回転トルク型のエンジンの時は重めの設定になり、高回転型（チャンバー装着時など）の時は軽めの設定になります。

※最高速を伸ばすにはハイスピードブリーやハイギアで③の段階での減速比をロングにします。また、チャンバーの交換等で最高回転を高く上げます。

※加速中のウエイトローラーセッティングが正しい時に、更に最高速を上げたいといってローラーセッティングを変更すると加速性能が鈍ってしまう場合があります。

※チャンバー等を装着して高回転型のエンジンになっている場合、①の発進が鈍くなる場合があります。この時には、クラッチスプリングや軽量クラッチ等と交換し、クラッチミートの回転数を上げて加速性を上げます。

おおまかな傾向としては上記のようになります。①②③は微妙にオーバーラップしますので、若干の修正が出てくる場合がありますが、これを念頭に入れておけばセッティングしやすい事かと思えます。

走行フィーリングとウエイトローラーセッティングの傾向

ウエイトローラーの重さの違いによる乗車感の違いを簡単に表にしてみましたので、参考にしてください。

| 走行フィーリング | 原因 | 対処方法 |
|--|----------------|----------------------|
| スタートから力が無く、加速しない。スピードも出ない。エンジンの回転数は低い。 | ウエイトローラーが重すぎる。 | トータルで12g程度、軽くしてください。 |
| スタートから40km/h程度までは加速するが、そこから回転が下がって速度の伸びが止まる。 | ウエイトローラーが重い。 | トータルで9g程度、軽くしてください。 |
| 平地だと最高速に到達するが、上り坂などで一回スロットルを戻すと再加速できない。 | ウエイトローラーが少し重い。 | トータルで6g程度、軽くしてください。 |
| 特に加速に谷が出ることも無く、ほぼ一定の加速感で最高速まで到達できる。 | 最適なセッティング。 | セッティング完了。 |
| 加速の谷は特に無いが、トルク感がなく最高速もやや下がり気味。 | ウエイトローラーが少し軽い。 | トータルで6g程度、重くしてください。 |
| スタートからエンジンが回り切っている感じで、加速していかない。 | ウエイトローラーが軽すぎる。 | トータルで9g程度、重くしてください。 |

セッティングで混乱しないために

色々とパーツを、かえたりセッティングを行なっていく場合は、何をやってもうまく走らない状態に陥る場合があります。こうした場合は、一度各パーツをノーマルに戻して何が原因かを追求していくことが先決です。

例) チャンバーを装着して、ウエイトローラーのセッティングをしていない状態なのに、更にプーリーやセンタースプリングを交換してしまい、何がセッティングを狂わせているのか解らなくなってしまった。

例) キャブキットやパワーフィルター、ビッグボア等を装着してキャブセッティングが出ていなく、エンジンの調子があまり良くない。

※基本的には何かひとつパーツを交換したら、その時点で一度セッティングを出してその後に次に進むというのが一般的な進め方です。

※セッティングしていく時に不調の原因がエンジンにあるのか、駆動系にあるのかを見極める必要もあります。実質、不調の原因を確認してからでないと、正確なセッティングは行なえません。

チャンバーとプーリー、ビッグボア等を購入した際に、いっぺんに交換してしまった場合にありがちなトラブルなので注意してください。

ウエイトローラー適合表

以下のセッティング表は、DAYTONA 製パーツを取り付けた際の場合です。また、車両のバラツキによりセッティング表どおりにはならない場合がありますので予めご了承ください。

<ノーマルエンジン仕様>

| 適合車両 | ノーマルウエイト重量 | ノーマルマフラー | SB チャンバー | SS チャンバー | ス-P-DASH |
|------------|------------|----------------|----------------|----------------|----------|
| ライブ DIO-ZX | 8.5g×6 | 9g×3 7.5g×3 | 9g×3 7.5g×3 | 6g×3 4.5g×3 | 7g×6 |
| ライブ DIO-SR | 8.5g×6 | 9g×3 7.5g×3 | 9g×3 7.5g×3 | 該当ナシ | 該当ナシ |
| スーパーDIO-ZX | 8.5g×6 | 9g×3 7.5g×3 | 9g×3 7.5g×3 | 4.5g×3 4g×3 | 4g×6 |
| スーパーDIO/SR | 8.5g×6 | 9g×3 7.5g×3 | 9g×3 7.5g×3 | 4.5g×3 4g×3 | 4g×6 |
| ジョルノ | 8.5g×6 | 9g×3 7.5g×3 | 該当ナシ | 該当ナシ | 該当ナシ |
| DIO-XR バハ | 8.5g×6 | 9g×3 7.5g×3 | 該当ナシ | 該当ナシ | 該当ナシ |

<ビッグボアキット仕様>

| 適合車両 | ノーマルウエイト重量 | ノーマルマフラー | SB チャンバー | SS チャンバー | ス-P-DASH |
|------------|------------|----------------|------------------|----------------|----------|
| ライブ DIO-ZX | 8.5g×6 | 7g×6 | 該当ナシ | 4g×6 | 5.5g×6 |
| ライブ DIO-SR | 8.5g×6 | 7g×6 | 該当ナシ | 該当ナシ | 該当ナシ |
| スーパーDIO-ZX | 8.5g×6 | 9g×3 7.5g×3 | 8.5g×3 7.5g×3 | 4g×3 3.5g×3 | 4g×6 |
| スーパーDIO/SR | 8.5g×6 | 9g×3 7.5g×3 | 8.5g×3 7.5g×3 | 4g×3 3.5g×3 | 4g×6 |
| ジョルノ | 8.5g×6 | 9g×3 7.5g×3 | 該当ナシ | 該当ナシ | 該当ナシ |
| DIO-XR バハ | 8.5g×6 | 9g×3 7.5g×3 | 該当ナシ | 該当ナシ | 該当ナシ |